

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2021 年 7 月号

2021 年 7 月 1 日
(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資(機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

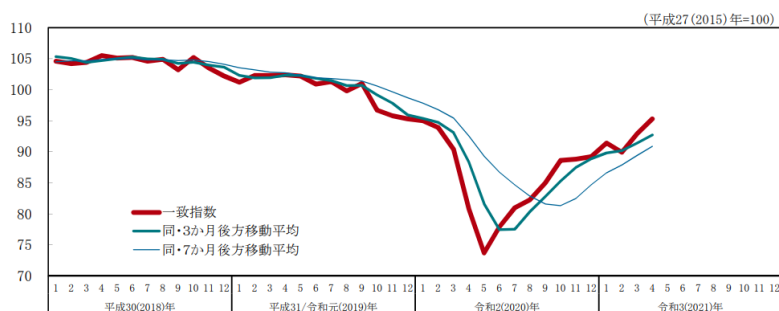
■ 景気動向指数 結果 令和 3 (2021) 年 4 月分 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)

4 月分改訂版 (令和 3 (2021) 年 6 月 23 日発表) (速報からの改訂状況) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202104rsummary.pdf>

1. 4 月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、
先行指数：103.8、一致指数：95.3、遅行指数：94.2
2. 一致指数の基調判断
景気動向指数 (C I 一致指数) は、改善を示している。

① 一致指数の推移



		令和2(2020)年		令和3(2021)年			
		11月	12月	1月	2月	3月	4月
C I 先行指数		97.1	97.5	98.3	99.2	102.4	103.8
	前月差(ポイント)	2.0	0.4	0.8	0.9	3.2	1.4
C I 一致指数		88.8	89.2	91.4	89.9	92.9	95.3
	前月差(ポイント)	0.2	0.4	2.2	-1.5	3.0	2.4
C I 遅行指数		91.0	90.7	91.1	90.9	93.7	94.2
	前月差(ポイント)	-0.3	-0.3	0.4	-0.2	2.8	0.5

▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 景気動向指数「令和 3 (2021) 年 4 月分 (速報) (6 月 7 日公表)」pdf：
(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202104psummary.pdf>
(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202104report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（6月）（内閣府、令和3年6月24日（木）公表）

（月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/06kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

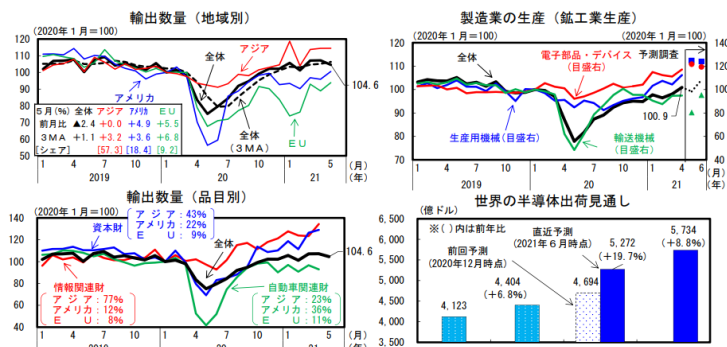
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月のポイント(1) 輸出・生産

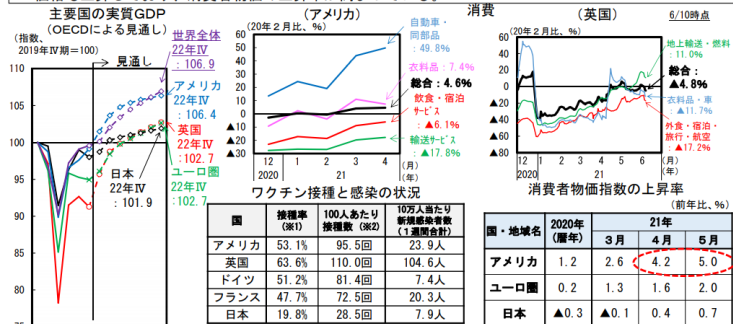
- ▶ 海外経済の回復を背景に、輸出は緩やかな増加が続いている。品目別にみると、自動車関連財は横ばいだが、情報関連財や資本財が牽引。
- ▶ 製造業の生産は、5G関連などで需要が旺盛な電子部品・デバイスや設備投資向けの生産用機械を中心に持ち直し。世界の半導体の出荷見通しは、2021年が上方修正され、2022年も増加が見込まれており、半導体製品に対する強い需要は当面続く見込み。



(備考) 1. 右上図は、財源「貿易統計(5月速報)」により作成。内閣府による季節調整。E.U.は全期間にわたり英国を除く27か国ベース。各シナリオは2020年の金融シナリオ。各財の輸出全体に占める割合は、情報関連財16.8%、資本財14.0%、自動車関連財16.9%。
 2. 右上図は、経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整。
 3. 右下図は、WSTS「世界半導体出荷統計」により作成。

今月のポイント(5) 世界経済

- ▶ 世界経済は持ち直しており、OECDによれば世界の実質GDPは21年半ばまでに感染症前の水準を超える見通し。ワクチン接種が進化するアメリカや英国では、財消費に加え、サービス消費についても回復の傾向がみられている。
- ▶ アメリカでは、エネルギー価格の上昇に加え、景気の着実な持ち直しに伴い、その他の財・サービス価格も上昇しており、消費者物価の上昇率が高まっている。



(備考) 1. 内閣府「国際経済報告」、財源「消費者物価指数」、アメリカ消費、アメリカ労働、ユーロ統計、英国統計、WPI、CEIC、Our World in data、OECD「Economic Outlook」May 2021（5月31日発表）より作成。
 2. 右上図の消費は、アメリカは日米個人消費支出、2020年2月比、季節調整。英国は「リテール・デパート」使用実績、2020年2月比の季節調整後、7日間移動平均。アメリカのサービス（2020年）は、自動車・同部品、衣料品・靴、飲食・宿泊、サービス、輸送サービス。
 3. 右下図の日本の消費者物価指数は、消費税率引上げ、幼児教育・保育無償化、60歳未満の失業率及び2021年4月の通信料（携帯電話）下落等による直接の影響を除いた数値（内閣府試算）。

▶ 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

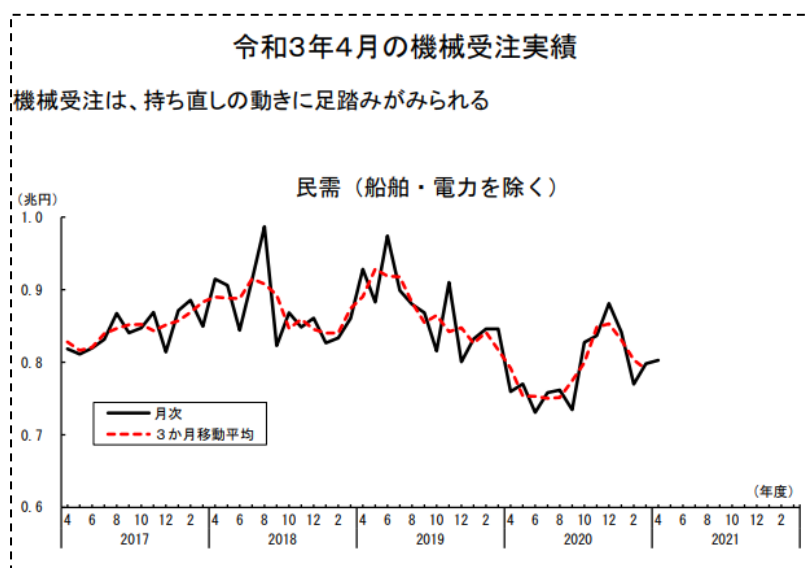
■ 設備投資 令和3年4月実績：機械受注統計調査報告
(令和3年6月16日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2104juchu.html>

1. 機械受注総額の動向をみると、2021（令和3）年3月前月比30.0%減の後、4月は同18.2%増の2兆5,080億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比3.7%増の9,183億円、官公需は同2.7%減の2,571億円、外需は同46.2%増の1兆2,175億円、代理店は同8.4%増の1,172億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2021（令和3）年3月前月比3.7%増の後、4月は同0.6%増の8,029億円となった。このうち、製造業は同10.9%増の3,796億円、非製造業（除く船舶・電力）は同11.0%減の4,119億円となった。

(以下図表は「令和3年4月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2104gaiyou.pdf>



		対 前 月 (期) 比								(単位: %)
期・月	2020年 (令和2年)			2021年 (令和3年)		2021年 (令和3年)				
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し	1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績	
受 注 総 額	△14.4	5.9	11.7	9.7	2.6	△1.7	26.4	△30.0	18.2	
民 需	△9.3	2.0	6.1	△7.4	11.4	△4.9	△12.0	2.7	3.7	
〃 (船舶・電力を除く)	△10.4	△0.3	12.9	△5.3	2.5	△4.5	△8.5	3.7	0.6	
製 造 業	△12.9	3.1	11.4	△2.2	7.0	△4.2	△5.5	△0.1	10.9	
非製造業 (除船舶・電)	△8.5	△2.2	15.5	△9.2	2.7	△8.9	△10.9	9.5	△11.0	
官 公 需	1.7	△10.7	1.8	△10.8	△3.6	△27.9	17.0	2.7	△2.7	
外 需	△26.0	23.2	19.7	31.4	2.9	6.4	76.2	△53.9	46.2	
代 理 店	△13.0	2.0	3.3	2.4	△3.5	4.7	△7.5	3.2	8.4	
民需 (船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△2.6	△3.3	△1.6	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2021年3月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)
～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 公表)

【2021年5月分】鉱工業指数の動向(速報)(2021年6月30日発表)より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202105sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202105sj.html

ー 生産は持ち直している ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は低下、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、6月は上昇、7月は低下を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は持ち直している。

・生産は、前月比-5.9%の低下。

低下業種：自動車工業、生産用機械工業、電気・情報通信機械工業等

上昇業種：輸送機械工業(除、自動車工業)、無機・有機化学工業

・出荷は、前月比-4.7%の低下。

低下業種：自動車工業、鉄鋼・非鉄金属工業、生産用機械工業等

上昇業種：輸送機械工業(除、自動車工業)、無機・有機化学工業

・在庫は、前月比-1.7%の低下。

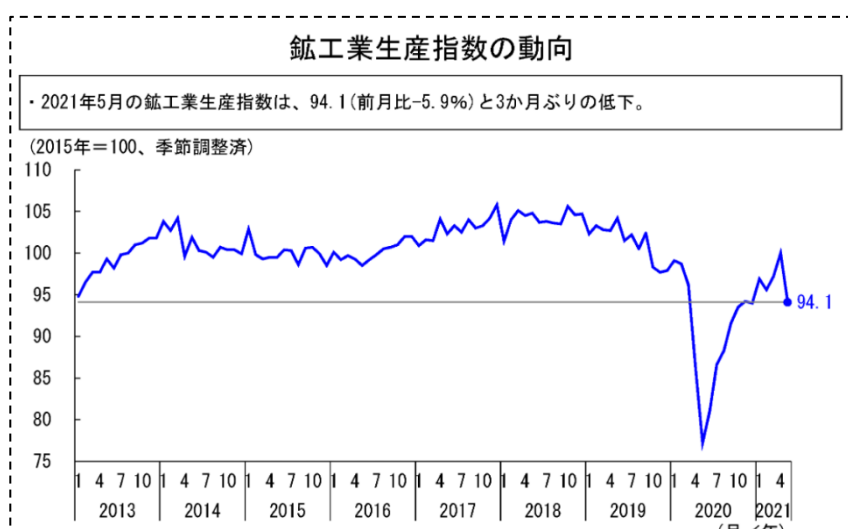
低下業種：自動車工業、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等

上昇業種：鉄鋼・非鉄金属工業、石油・石炭製品工業、無機・有機化学工業等

今月(5月)の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20210630_1.html
(解説)

5月の鉱工業生産は前月比マイナス5.9%と3か月ぶりの低下。
世界的な半導体不足の影響等から、自動車工業が大幅に低下したことなどを受けて、
全体として3か月ぶりの低下となった。
基調判断は、「生産は持ち直している」を据え置き。



詳細は以下の**経済産業省 ホームページ**をご参照下さい。

鉱工業指数「結果の概要」：

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2021 年 6 月 30 日発表より抜粋)

【2021 年 4 月動向概況】

- ・ 2021 年 4 月のグローバル出荷額は 3,578 億円、前年比 138.2%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品 (前年比 139.8% 1,693 億円)、接続部品 (同 142.5% 817 億円)、変換部品 (同 143.2% 548 億円)、その他の電子部品 (同 123.3% 519 億円) となった。
- ・ 地域別出荷は日本 (前年比 130.3% 746 億円)、米州 (同 229.2% 341 億円)、欧州 (同 203.4% 344 億円)、中国 (同 117.4% 1,382 億円)、アジア・その他 (同 146.0% 763 億円) となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2021.06.30 発表: 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)		2021年度				2021年度累計	
		4月				4月-4月	
		金額(億円)	前年比 (%)			金額(億円)	前年比 (%)
世界計		3,578	138			3,578	138
(日本)		746	130			746	130
品 目 別	受動部品	1,693	139			1,693	139
	コンデンサ	1,238	139			1,238	139
	抵抗器	151	139			151	139
	トランス	36	136			36	136
	インダクタ	262	142			262	142
	その他	5	78			5	78
	接続部品	817	142			817	142
	スイッチ	332	158			332	158
	コネクタ	482	133			482	133
	その他	2	104			2	104
	変換部品	548	143			548	143
	音響部品	101	132			101	132
	センサ	221	133			221	133
	アクチュエータ	224	161			224	161
	その他の電子部品	519	123			519	123
電源部品		192	132			192	132
高周波部品		327	118			327	118

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2020年度»

地域別出荷金額 (億円)	2021年度				2021年度累計	
	4月				4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)			金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,578	138			3,578	138
日本	746	130			746	130
米州	341	229			341	229
欧州	344	203			344	203
中国	1,382	117			1,382	117
アジア他	763	146			763	146

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上